

# あしたのまち・くらしづくり活動賞 振興奨励賞を受賞しました！

地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住みよい地域社会の創造を目指し、独自の発想により、活動に取り組んでいる地域活動団体に贈られる「あしたのまち・くらしづくり活動賞」。

今年、全国271団体からの応募のうち、20団体に贈られた「振興奨励賞」に市内の2団体が選ばれました。

保健福祉・こども・子育て  
相談センター  
☎ 0558(76)8010

## 【受賞団体①】 伊豆の国市建設業協会

市建設業協会は、ベンチを通して地域交流や異世代、多業種間の交流を生み出す『ベンチプロジェクト』で、平成28年当初から強力な推進役として活躍しています。これまでベンチプロジェクトにおいて設置された76箇所のうち、市建設業協会が製作したベンチは40箇所、59基に及んでいます。(令和3年12月10日時点)



▲設置前の最終確認を行う様子。職人技と地域への想いが光ります。



地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住みよい地域社会の創造を目指し、独自の発想により、活動に取り組んでいる地域活動団体に贈られる「あしたのまち・くらしづくり活動賞」。

今年、全国271団体からの応募のうち、20団体に贈られた「振興奨励賞」に市内の2団体が選ばれました。

ベンチプロジェクトで製作されたベンチには、多くの人たちの想いが込められています。

製作側は、地域の人々が座りやすいように、高さや座面のなめらかさ、水はけのよさ、立ち上がりのしやすさなどの工夫が凝らされています。

ベンチの製作には、市建設業協会から輪が広がり、高校生のインターンシップや卒業制作、明るい社会をつくる会や大工組合、シルバー人材センターや伊豆の森林を守るボランティアの人々へと広がっています。

また、設置された場所では、ベンチの周りにマーガレットの花壇が置かれたり、座面に手作りの座布団が敷かれたりするなど、地域住民のコミュニティが生まれやすくなるような工夫がされています。こうして地域の見守りの目が生まれ、ベンチは「誰が、いつ行ってもいい自由なふれあいの空間」となっています。

ただ、そこに座るだけで地域と繋がっていられる気持ちになる。そんな温かいベンチに、ぜひ腰を掛けてみてください。

## 【受賞団体②】 千代田区見守り隊



千代田区見守り隊は、地区内の小学生の登下校を見守るため、平成22年9月から活動を開始しました。

高齢化率(千代田区は49・4%・令和3年4月1日時点)が年々上昇する中、高齢者の買い物支援や地域の見守りのため、平成29年5月から「笑顔の食材市」を開始。この取り組みの趣旨に賛同した地場産品を扱う地元事業所の協力のもと、毎週火曜日11時から千代田団地内で行っています。

地域の人が集まりやすくなるよう、公園内の清掃や、折り畳み式の机をみんなで作成したり、ベンチプロジェクトで伊豆総合高校より寄贈があったベンチとテーブルを定期的に磨くなど、自発的な活動を通じて、自身へのやりがいや生きがい、健康増進にもつなげています。



▲「大きくなったねえ〜。」「ここのお野菜で離乳食を食べるようになりましたー！」などの会話が弾みます。



食材市では、開始前に区内放送で、当日の商品の紹介をしたり、閉じこもりがちな高齢者に声を掛けて公園まで一緒に歩いたり、重たい荷物を自宅まで運ぶなど、地域の中での声掛けが増えています。

子育て中の人が足を運び、地域の人々が日々の成長の様子を温かく見守る場面も見受けられます。

「このごぼうで何を作る?」「大きなカボチャはどんな料理にしたらいいかな?」「この間、この焼きそばがおいしかったよ」「久しぶりに顔を見たいけど、元気だったかい?」など、青空の下、笑顔の花が咲き、会話を通した交流が生まれています。

合言葉は、「軍手とやる気をもってきてー」

千代田区見守り隊の活動はさらに進化しており、買い物支援サービスや、剪定ボランティアなど、自主的な活動が増えています。

### ★インタビュー「伊豆の国市ベンチプロジェクト」への想い



伊豆の国市建設業協会  
会長 土屋龍太郎 さん

エッセンシャルワーカーの一翼を担う建設業としてこれからも地域を支えていく。

社会が必要とするサービスを提供してこそ、事業が成り立ちます。『助け合いながら、心豊かに暮らす』ために必要なサービスとは何かが分かれば、事業者が持つ経営資源(人・物・情報)を、どう生かすかが見えてきます。

ベンチプロジェクトが、より多くの地域事業者が行動を起こす引き金になれば幸いです。



### ★インタビュー「笑顔の食材市 元気な千代田」への想い



千代田区見守り隊  
代表 横山四郎 さん

笑顔と元気な千代田をモットーに見守り隊員みんな「行動あるのみ！」

長年の地道な「見守り活動」受賞の礎を築いてくださった、諸先輩方々に感謝します。

見守り隊員 24名それぞれが、「無理のない」活動参加によって、末永く受賞に恥じない、あしたのまち・くらしづくり活動を行います。

